

コニカミノルタビジネスソリューションズ、本社ビルの使用電力を「見える化」

～従業員の節電意識をさらに向上し、節電施策を効果的に推進～

2013年2月13日

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社(本社:東京都中央区、社長:和田 幹二、以下「コニカミノルタBJ」)は、省エネワークスタイルの推進活動の一環として、このたび本社ビルに「電力見える化」システムを導入いたしました。

コニカミノルタBJでは、東日本大震災以降、全国の拠点で事業活動における節電を徹底してきました。2012年夏季までの節電施策では、クールビズ・ウォームビズに合わせて空調温度を管理し、照明の間引き点灯や休憩時間の消灯、PCなど業務用機器のスイッチオフなど、従業員一人ひとりが省エネを意識した行動を実践しています。その結果、2011年度の本社ビルの使用電力量は前年度比で約17%低下しました。

長期的な従業員の節電意識の維持・向上をめざし、このたび、ビル全体およびビル各階の使用電力を計測し、電子サイネージ等で使用電力をリアルタイムに表示するシステムを本社ビルに導入し、2月上旬より稼動しています。これにより、各階ごとに空調の使用電力、照明・コンセントの使用電力、およびトータル使用電力を各階に設置する電子サイネージやインターネット上で確認することができます。各階ごとの電力使用状況をきめ細かく把握することによって、節電施策を効果的に運用改善するとともに、照明の一斉消灯などの節電活動の効果を数値で「見える化」し、省エネ活動のモチベーションの維持・向上に役立てます。今回のシステム導入により、2013年度の本社ビルの電力使用量について2011年度対比で10%の削減を見込んでおり、運用開始後も効果を検証していきます。さらに、本社ビルでの導入・運用成果を全国の主要拠点へと横展開し、全社の省エネ活動のレベルアップをめざします。



電子サイネージ

現在、あらゆる規模のオフィスで省エネ型のワークスタイルの取り組みが推進されています。コニカミノルタBJでは、お客さまの節電ニーズに対して、省エネ性能に優れた製品を提供するとともに、製品の節電方法などの情報をウェブサイトなどを通じて提供しています。さらに、これからは、今回の「電力見える化」システムの自社実践から得た知見を活用し、省エネ機器の導入提案に加え、オフィス全体の省エネやビル全体のBEMS(ビルエネルギー管理システム)に関連するソリューション提案、コンサルティング活動への展開の検討を進めてまいります。



画面表示例

(実際の数値と異なる場合があります)

[ページトップへ戻る](#)